

地区計画ガイド

西部中央地区



人にやさしいまちづくり

NONOICHI

● はじめに ●

魅力あるまちづくりのために、計画的な都市基盤整備と秩序ある市街化の誘導を進めています。
西部中央地区は、宅地利用の増進と公共施設の整備を進め、既存周辺施設と調和がとれ環境の良い市街地形成を図るため、地区計画が定められています。

この地区計画は、そこに住む人みんなでつくるまちづくりのルールであり、みんなで守り、育て、そして実現していくものです。

名 称		野々市市西部中央地区 地区計画					
位 置		野々市市田尻町の一部 // 堀内一丁目の一部 // 蓮花寺町の一部 // 郷町の一部					
面 積		約27.1 ha					
区域の整備・開発および保全の方針	地区計画の目標	本地区は、野々市市の西部に位置しており、近隣には一般国道 8 号や金沢外環状道路などの広域交通網が整備されている。また本市の総合公園である野々市中央公園に隣接し、レクリエーション環境が整っていると同時に、医療・福祉関連施設も充実した地区である。 本地区計画は、地区のテーマである「健康・医療・福祉のまちづくり」を実現するため、関連施設の立地誘導を適正に進めるとともに、快適な住環境を創出し、計画的かつ魅力的な市街地の形成を図ることを目標とする。					
	土地利用の方針	土地区画整理事業を基盤とした機能的な商業地及び良好な居住環境を創出するための計画的な土地利用を図るため、本地区を以下の 6 地区に区分する。					
		1. 住宅・生活 利便ゾーン	2. 沿道 サービスゾーン	3. 拠点施設 ゾーン	4. 住宅 ゾーン①	5. 住宅 ゾーン②	6. 住宅 ゾーン③
		都市内幹線道路の沿道として住宅地の形成を基本としつつも、店舗や事務所等の利便施設の立地も誘導する。	広域幹線道路の沿道として秩序ある施設の立地と、背後の住宅地に対する騒音等の緩和を考慮し、沿道サービス施設の立地を誘導する。	非可住地として、住宅立地を規制し、まちづくりのテーマである「健康・医療・福祉のまちづくり」を促進するため、関連施設の立地を誘導する。また、相乗効果をもたらすための利便施設の立地も許容する。	緑豊かで、ゆとりと落ち着きのある閑静なたたずまいの住宅地の形成を図る。	既存集落との調和を図り、日常的な利便性を確保するための店舗等の立地も許容し、良好な住宅地の形成を図る。	
	地区施設の整備方針	土地利用の方針に基づき、都市計画道路及び既存道路を活用し、区画道路の計画的な配置を誘導する。（郷町の一部）					
建築物等の整備方針	地区計画の目標及び土地利用の方針に基づき、景観的な配慮を行い、かつ、周辺の既存市街地の環境との調和を保ちながら、それぞれの土地利用にふさわしい街区の形成が図られるよう、建築物等の用途の制限、建築物の敷地面積の最低限度、建築物等の壁面の位置の制限、建築物等の高さの最高限度、建築物等の形態又は意匠の制限、かき又はさくの構造の制限等を行い、緑豊かな街並みが形成されるよう誘導する。						

● 西部中央地区 地区計画の内容 ●

●この地区計画は、平成30年8月15日に都市計画決定し、令和元年10月29日に変更しました。

●この地区計画の内容は、令和元年10月現在のものです。

地区施設の配置及び規模	道路	名称：区画道路 幅員：8.2m 延長約103m／幅員：7.4m 延長約99m						
	地区の区分	名称	住宅・生活利便ゾーン	沿道サービスゾーン	拠点施設ゾーン	住宅ゾーン①	住宅ゾーン②	住宅ゾーン③
		面積	約5.6ha	約3.6ha	約8.4ha	約2.6ha	約6.0ha	約0.9ha
	地区の区分に応じ、次に掲げる建築物等は、建築してはならない。ただし、地区計画の都市計画決定時に現存する建築物の敷地において、従前と同様の用途の建築物を建築する場合はこの限りではない。							
地区整備計画	建築物等に関する事項	建築物等の用途の制限	1.畜舎 2.動物訓練所、資材置き場、廃車・解体物置き場の用に供するもの					
			3.屋外バットニングセンター、屋外ゴルフ練習場その他これらに類する屋外運動施設 4.風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第1項各号に該当する営業の用に供するもの 5.自動車教習所 6.建築基準法別表第2（ほ）項第2、3号に掲げる建築物 7.危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場 8.自動車修理工場 9.危険物の貯蔵・処理の量が非常に少ない施設	3.戸建て専用住宅（国道8号に面しない敷地は除く。） 4.住宅で事務所、店舗その他これらに類する用途を兼ねるもののうち政令で定めるもの 5.屋外バットニングセンター、屋外ゴルフ練習場その他これらに類する屋外運動施設 6.風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第1項各号に該当する営業の用に供するもの 7.自動車教習所 8.建築基準法別表第2（ほ）項第2、3号に掲げる建築物 9.危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場 10.自動車修理工場 11.危険物の貯蔵・処理の量が非常に少ない施設	3.住宅、共同住宅（長屋含む）、寄宿舎、下宿 4.住宅で事務所、店舗その他これらに類する用途を兼ねるもののうち政令で定めるもの 5.屋外バットニングセンター、屋外ゴルフ練習場その他これらに類する屋外運動施設 6.風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第1項各号に該当する営業の用に供するもの 7.自動車教習所 8.建築基準法別表第2（ほ）項第2、3号に掲げる建築物 9.危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場 10.自動車修理工場 11.危険物の貯蔵・処理の量が非常に少ない施設	3.500m ² を超える店舗等その他これらに類するもの 4.事務所等 5.ホテル又は旅館 6.屋外バットニングセンター、屋外ゴルフ練習場その他これらに類する屋外運動施設 7.風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第1項各号に該当する営業の用に供するもの 8.神社、寺院、教会等その他これらに類するもの 9.公衆浴場 10.自動車教習所 11.危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場 12.自動車修理工場 13.危険物の貯蔵・処理の量が非常に少ない施設 14.建築基準法別表第2（ほ）項第2、3号に掲げる建築物	3.500m ² を超える店舗等その他これらに類するもの 4.ホテル又は旅館 5.屋外バットニングセンター、屋外ゴルフ練習場その他これらに類する屋外運動施設 6.神社、寺院、教会等その他これらに類するもの 7.公衆浴場 8.自動車教習所 9.危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場 10.危険物の貯蔵・処理の量が非常に少ない施設	3.500m ² を超える店舗等その他これらに類するもの 4.事務所等の床面積が3,000m ² を超えるもの 5.ホテル又は旅館 6.屋外バットニングセンター、屋外ゴルフ練習場その他これらに類する屋外運動施設 7.風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第1項各号に該当する営業の用に供するもの 8.神社、寺院、教会等その他これらに類するもの 9.公衆浴場 10.自動車教習所 11.倉庫業を営む倉庫 12.危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場 13.作業場の床面積が50m ² を超える自動車修理工場 14.危険物の貯蔵・処理の量が非常に少ない施設 15.建築基準法別表第2（ほ）項第2、3号及び別表第2（を）項第3、4号に掲げる建築物

地区の区分		名称	住宅・生活利便ゾーン	沿道サービスゾーン	拠点施設ゾーン	住宅ゾーン①	住宅ゾーン②	住宅ゾーン③
地区整備計画	建築物の敷地面積の最低限度	165m ²						
		ただし、野々市市西部中央土地区画整理事業の換地処分時に、既に上記面積未満の敷地となっている場合は、その敷地を分割しない限り建築物等を建築することができる。						
	壁面の位置の制限	1.道路境界線及び隣地境界線から建築物等の壁面又はこれらに代わる柱等の面までの距離の最低限度は、次に掲げる数値とする。ただし、建築設備についてはこの限りでない。 （1）道路境界線からの距離は1.5 mとする。 （2）その他公共用地、道路隅切線、隣地境界線からの距離は1.0 mとする。 2.前項の規定により建築することができる建築面積が、都市計画において定められた建蔽率の限度〔建築基準法第53条第3項の規定（角地の緩和）を適用しないもの〕による建築面積を下回る場合は、次に掲げる数値とすることができる。 （1）道路境界線からの距離は0.6 mとする。 （2）その他公共用地、道路隅切線、隣地境界線からの距離は0.5 mとする。ただし、隣地所有者の同意があるものに限る。						
	建築物等の高さの最高限度	20m	25m		15m			
	建築物等の形態又は意匠の制限	1.建築物等の形態及び意匠は、周辺の景観及び環境と調和したものとする。 2.建築物等の外壁の色は原色を避け、低彩度の色を基調とし、周辺の建築物と彩度をそろえるなど景観の調和に配慮する。 3.広告物は、都市景観上支障のない様に美観、大きさに配慮し、次に掲げるものとする。ただし、管理上、防犯上必要なもの又は非営利目的の公共的なものについてはこの限りでない。（広告物の用語の定義は、いしかわ景観総合条例に準ずる。）						
		<div>（1）自己の用に供するものとする。 （2）自立広告物の高さは10m以下とし設置位置は道路境界線から0.6 m以上後退した位置とする。 （3）突出広告物は、外壁から突出する部分を1 m以内とし地盤面からの高さを3 m以上に設置するものとする。</div>	<div>（1）自己の用に供するものとする。 （2）屋上広告物は設置できないものとする。 （3）壁面利用広告物は、壁面積の1/10以内のものとする。 （4）自立広告物の高さは4 m以下とし、設置位置は道路境界線から0.6 m以上後退した位置とする。 （5）突出広告物は、外壁から突出する部分を1 m以内とし、地盤面からの高さを3 m以上に設置するものとする。 （6）壁面利用広告物以外の広告物の表示面積の合計は、10㎡以内とする。</div>					
かき又はさくの構造の制限	1.道路に面する敷地にかき又はさくを設ける場合は次に掲げるものとする。 隣地境界に設置するフェンス等についても、道路境界線から0.6 m以上後退する。 （1）道路境界線から0.6 m以上後退し、かつ、その間は高さ0.6 m程度の緑化（花壇を含む。）に努めるものとする。 （2）高さは、道路面から1.5 m以下とし、石積、レンガ等は0.6 m以下とする。							
土地利用に関する事項		敷地内は、中木、高木等の植栽を施し、緑化の推進を図る。 都市計画道路沿いは、夜間照明の設置に努める。						

「位置図及び区域は計画図表示のとおり」

● 西部中央地区 地区計画の説明 ●

建築物等の用途の制限

建築物の用途の混在を防ぎ、良好な都市景観を保全するため、都市計画用途区分による建築物の用途制限のほかに、次のような建築が禁止されています。

〈全地区共通〉

- 畜舎
- 動物訓練所、資材置き場、廃車・解体物置き場の用に供するもの

〈住宅・生活利便ゾーン〉

- 屋外バッティングセンター、屋外ゴルフ練習場その他これらに類する屋外運動施設
- 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第1項各号に該当する営業の用に供するもの
- 自動車教習所
- 建築基準法別表第2（ほ）項第2、3号に掲げる建築物
- 危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場
- 自動車修理工場
- 危険物の貯蔵・処理の量が非常に少ない施設

〈沿道サービスゾーン〉

- 戸建て専用住宅（国道8号に面しない敷地は除く。）

〈拠点施設ゾーン〉

- 住宅、共同住宅（長屋含む）、寄宿舎、下宿
- 住宅で事務所、店舗その他これらに類する用途を兼ねるもののうち政令で定めるもの
- 屋外バッティングセンター、屋外ゴルフ練習場その他これらに類する屋外運動施設
- 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第1項各号に該当する営業の用に供するもの
- 自動車教習所
- 建築基準法別表第2（ほ）項第2、3号に掲げる建築物
- 危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場
- 自動車修理工場
- 危険物の貯蔵・処理の量が非常に少ない施設

〈住宅ゾーン①〉

- 500m²を越える店舗等その他これらに類するもの
- 事務所等
- ホテル又は旅館
- 屋外バッティングセンター、屋外ゴルフ練習場その他これらに類する屋外運動施設
- 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第1項各号に該当する営業の用に供するもの
- 神社、寺院、教会等その他これらに類するもの
- 公衆浴場
- 自動車教習所
- 危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場
- 自動車修理工場
- 危険物の貯蔵又は処理の量が非常に少ない施設
- 建築基準法別表第2（ほ）項第2、3号に掲げる建築物

〈住宅ゾーン②〉

- 500m²を越える店舗等その他これらに類するもの
- ホテル又は旅館
- 屋外バッティングセンター、屋外ゴルフ練習場その他これらに類する屋外運動施設
- 神社、寺院、教会等その他これらに類するもの
- 公衆浴場
- 自動車教習所
- 危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場
- 危険物の貯蔵・処理の量が非常に少ない施設

〈住宅ゾーン③〉

- 500m²を越える店舗等その他これらに類するもの
- 事務所等の床面積が3,000m²を越えるもの
- ホテル又は旅館
- 屋外バッティングセンター、屋外ゴルフ練習場その他これらに類する屋外運動施設
- 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第1項各号に該当する営業の用に供するもの
- 神社、寺院、教会等その他これらに類するもの
- 公衆浴場
- 自動車教習所
- 倉庫業を営む倉庫
- 危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場
- 作業場の床面積が50m²を越える自動車修理工場
- 危険物の貯蔵・処理の量が非常に少ない施設
- 建築基準法別表第2（ほ）項第2、3号及び別表第2（を）項第3、4号に掲げる建築物

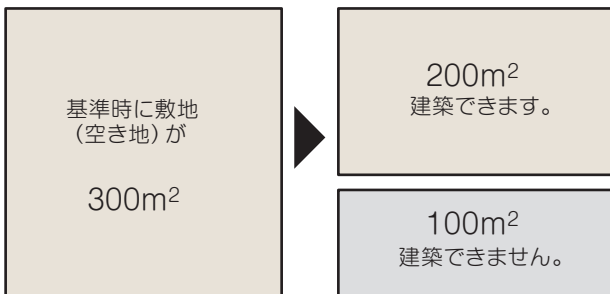
建築物等の敷地面積の最低限度

敷地の細分化による建て詰まりを防ぐとともに、日照・通風及び落雪・たい雪スペースの確保など良好な環境保全を図るため、敷地面積の最低限度は**165㎡**と定められています。

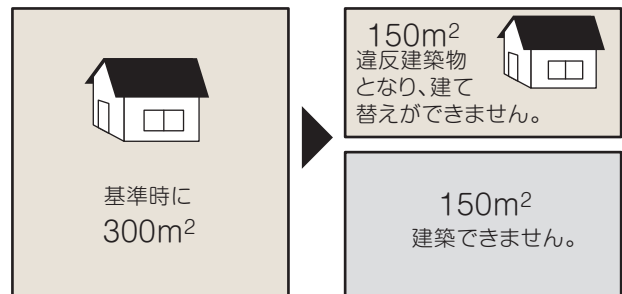
建築物を建てるには、それぞれの地区の最低限度以上の敷地面積を確保しなければなりません。ただし、基準時（野々市市西部中央土地区画整理事業の換地処分がなされた日）以前にその最低限度を下回っていた敷地については、その敷地を分割しない限り、この制限は適用されません。

敷地を分割する場合の例

【例1】



【例2】



建築物の高さの最高限度

高すぎる建物は、周辺と調和のとれた計画的な市街化形成を乱すとともに、隣家の日照・通風に影響を与えたり、圧迫感をもたらすことがあります。このため、建築物の高さを地区の特性にあった高さにすることが必要です。

- 住宅・生活利便ゾーン 20m以下
- 沿道サービスゾーン、拠点施設ゾーン 25m以下
- 住宅ゾーン①、②、③ 15m以下

建築物の高さの最高限度

住宅・生活利便ゾーン	沿道サービスゾーン、拠点施設ゾーン	住宅ゾーン①、②、③
20m以下	25m以下	15m以下

※届け出のための図面には、各寸法を明記してください。

壁面の位置の制限

建築の過度の建て詰めを防ぎ、日照・通風及び落雪・たい雪スペースの確保、あるいは緑豊かな居住空間を形成し、ゆとりのある住宅地とすることをめざします。そのため、道路、公園、水路、河川などの境界線や隣地境界線から後退して建築する必要があります。

○道路境界線からは **1.5 m** 以上後退して建築してください。

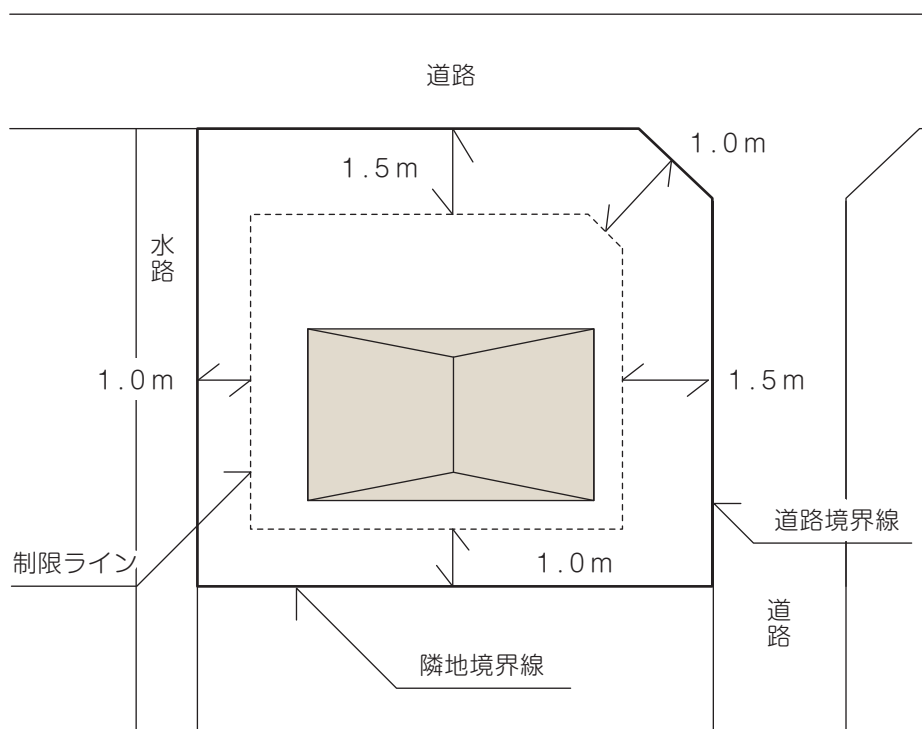
○その他の公共用地、道路隅切線、隣地境界線からは **1.0 m** 以上後退して建築してください。

- 前述の規定により建築することができる建築面積の限度が、都市計画において定められた建蔽率の限度〔建築基準法第53条第3項に規定（角地の緩和）を適用しないもの〕による建築面積を下回る場合は、次に掲げる数値とすることができます。

○道路境界線からは **0.6 m** 以上後退して建築してください。

○その他の公共用地、道路隅切線、隣地境界線からは **0.5 m** 以上後退して建築してください。
（ただし、隣地所有者の同意があるものに限り。）

壁面の位置の制限



※後退距離は、建築物の壁面又はこれらに代わる柱の面までの距離であり、壁や柱の芯までの距離ではありません。

届け出のための図面には、後退距離を明記してください。

建築物等の形態又は意匠の制限

周辺と調和のとれた計画的な市街化形成を図るため、建築物の外観について次のように定められています。

1 建築物等の外観

建築物等の形態及び意匠は、周辺の景観及び環境と調和したものとしします。

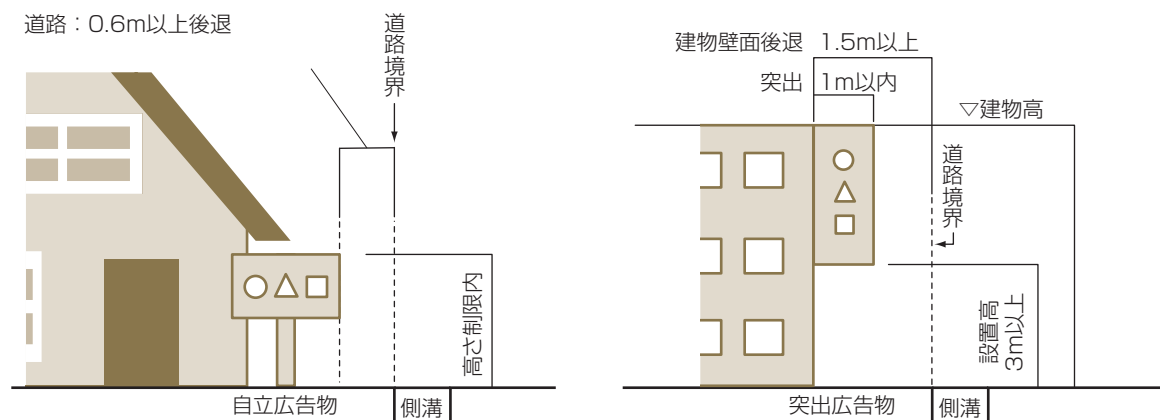
建築物等の外壁の色は原色を避け、低彩度の色を基調とし、周辺の建築物と彩度をそろえるなど景観の調和に配慮します。

2 広告物について

けばけばしい色彩や大きすぎる広告物は、良好な景観を損なうことになります。その形や色彩、大きさ、表示位置について工夫し、周辺の眺望・景観などと調和して都市景観形成上支障がないものとしします。

建築物等の形態又は意匠の制限

地区の名称	住宅・生活利便ゾーン 沿道サービスゾーン 拠点施設ゾーン	住宅ゾーン①,②,③
用 途	自己の用に供するもの	
表示面積	県条例	壁面利用広告物以外の広告物の 表示面積合計は、10㎡以下
屋上広告物	○（県条例）	×
自立広告物	○ 高さ：10m 以下	○ 高さ：4m 以下
	設置位置：道路境界から 0.6m 以上後退した位置	
突出広告物	○ 突出幅：1m 以内 地盤面から3m 以上空間確保（歩行者空間確保）	
壁面利用広告物	○（県条例）	○（壁面積の1/10以下）



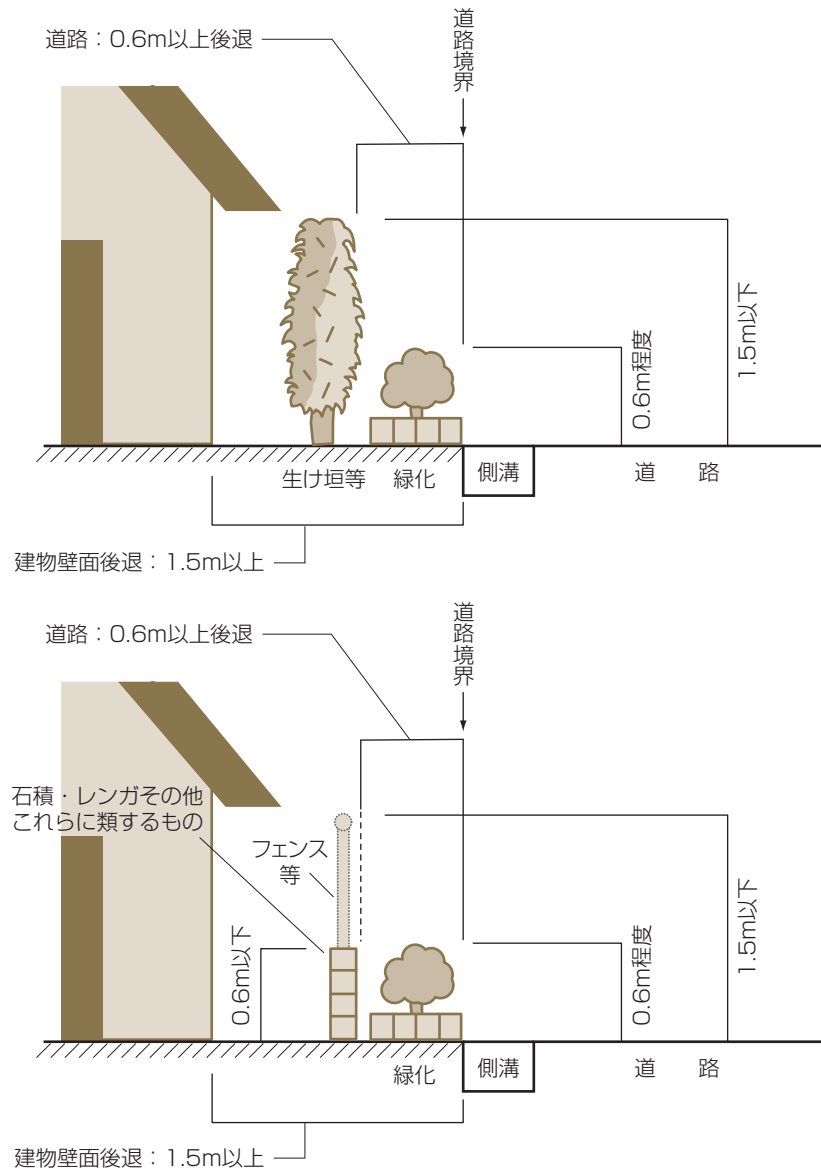
※届け出のための図面には、**各寸法を明記**してください。

かき又はさくの構造の制限

緑豊かな居住空間を形成するため、かき又はさくの構造の制限を行なっています。

- ・生垣など緑化に努めてください。
- ・道路境界線から **0.6 m** 以上後退し、かつ、その間は高さ **0.6 m** 程度の緑化（花壇を含む）に努めてください。
- ・高さは道路面から **1.5 m** 以下とし、石積、レンガ等は **0.6 m** 以下としてください。
- ・隣地境界に設置するフェンス等についても、道路面から **0.6 m** 以上後退してください。

かき又はさくの構造の制限



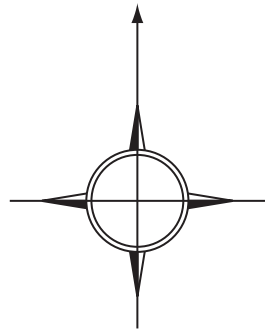
※届け出のための図面には、**各寸法を明記**してください。

●地区計画による建物用途の制限●

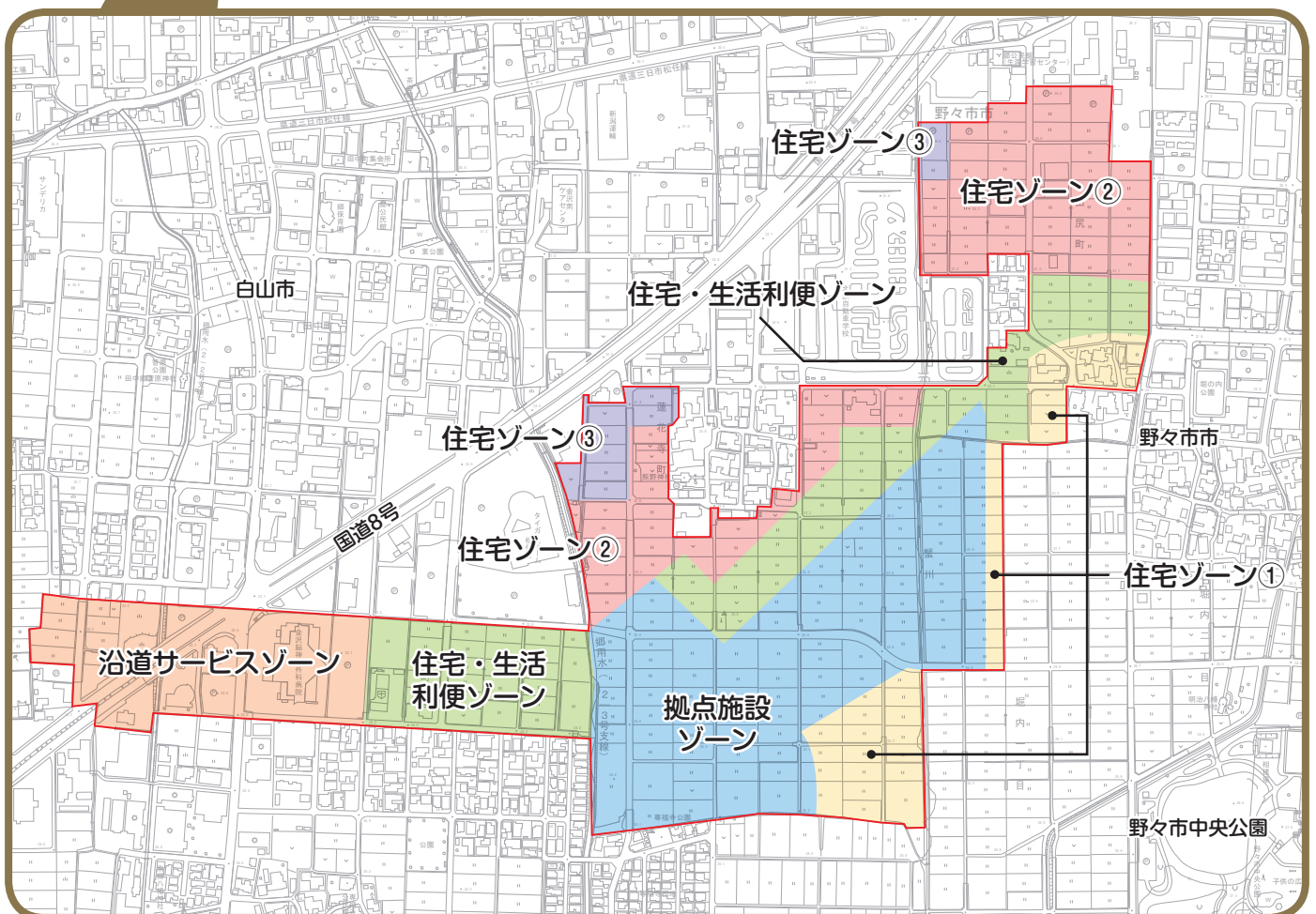
(注) 本表は概要であり、すべての制限について掲載したものではありません。

建築物の用途制限 ○：建てられる用途 空欄：建てられない用途 ①、▲：面積、階数等の制限あり		第一種住居地域	住宅ゾーン②	第二種住居地域	住宅ゾーン①	住宅生活利便ゾーン	拠点施設ゾーン	準工業地域	沿道サービスゾーン	住宅ゾーン③	備考
住宅、共同住宅、寄宿舎、下宿		○	○	○	○	○		○	▲	○	▲戸建て専用住宅(国道8号に面しない敷地は除く)は不可
兼用住宅で、非住宅部分の床面積が50㎡以下かつ建築物の延べ面積の2分の1未満のもの		○	○	○	○	○		○	○	○	非住宅部分の用途制限あり
店舗等	店舗等の床面積が 150㎡以下のもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	店舗等の床面積が 150㎡を超え、500㎡以下のもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	店舗等の床面積が 500㎡を超え、1,500㎡以下のもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	店舗等の床面積が 1,500㎡を超え、3,000㎡以下のもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	店舗等の床面積が 3,000㎡を超え、10,000㎡以下のもの		○	○	○	○	○	○	○	○	
	店舗等の床面積が 10,000㎡を超えるもの							○	○	○	
事務所等	事務所等の床面積が 150㎡以下のもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事務所等の床面積が 150㎡を超え、500㎡以下のもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事務所等の床面積が 500㎡を超え、1,500㎡以下のもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事務所等の床面積が 1,500㎡を超え、3,000㎡以下のもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事務所等の床面積が 3,000㎡を超えるもの		○	○	○	○	○	○	○	○	
ホテル、旅館		▲		○	○	○	○	○	○	○	▲3,000㎡以下
遊戯施設・風俗施設	ボーリング場、スケート場、水泳場、ゴルフ練習場、バレーボール練習場等	▲	▲	○	①	①	①	○	○	①	①屋外バレーボールセンター、屋外ゴルフ練習場、その他これらに類する屋外運動施設は不可 ▲3,000㎡以下かつ①
	カラオケボックス等			○				○	○		
	麻雀屋、ぱちんこ屋、射的場、馬券・車券発売所等			○				○	○		
	劇場、映画館、演芸場、観覧場、ナイトクラブ等							○	○		
	キャバレー、個室付浴場等							▲	▲		▲個室付浴場等を除く
公共施設・病院・学校等	幼稚園、小学校、中学校、高等学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	大学、高等専門学校、専修学校等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	図書館等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	巡査派出所、一定の規模以下の郵便局等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	神社、寺院、教会等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	公衆浴場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	診断所、保育所等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	老人ホーム、身体障害者福祉ホーム等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	老人福祉センター、児童厚生施設等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
工場・倉庫等	自動車教習所	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	▲3,000㎡以下
	単独車庫(附属車庫を除く)	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○	○	▲300㎡以下 2階以下
	建築物附属自動車車庫	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○	○	▲建築物の延べ面積の1/2以下かつ2階以下
	※一団地の敷地内について別に制限あり										
	倉庫業倉庫							○	○		
	畜舎(15㎡を超えるもの)	▲		○				○	○		▲3,000㎡以下
	パン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋、洋服店、畳屋、建具屋、自転車店等で作業場の床面積が50㎡以下	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原動機の制限あり
	危険性や環境を悪化させるおそれが非常に少ない工場	▲	▲					○	○		原動機・作業内容の制限あり
	危険性や環境を悪化させるおそれが少ない工場							○	○		作業場の床面積
	危険性や環境を悪化させるおそれがやや多い工場							○	○		▲50㎡以下
	自動車修理工場	▲	▲	▲				○	○	▲	作業場の床面積 ▲50㎡以下 原動機の制限あり
	火薬、石油類、ガスなどの危険物の貯蔵・処理の量							○	○		▲3,000㎡以下
量が非常に少ない施設		▲		○				○	○		
量が少ない施設								○	○		
量がやや多い施設								○	○		

● 地区計画図 ●

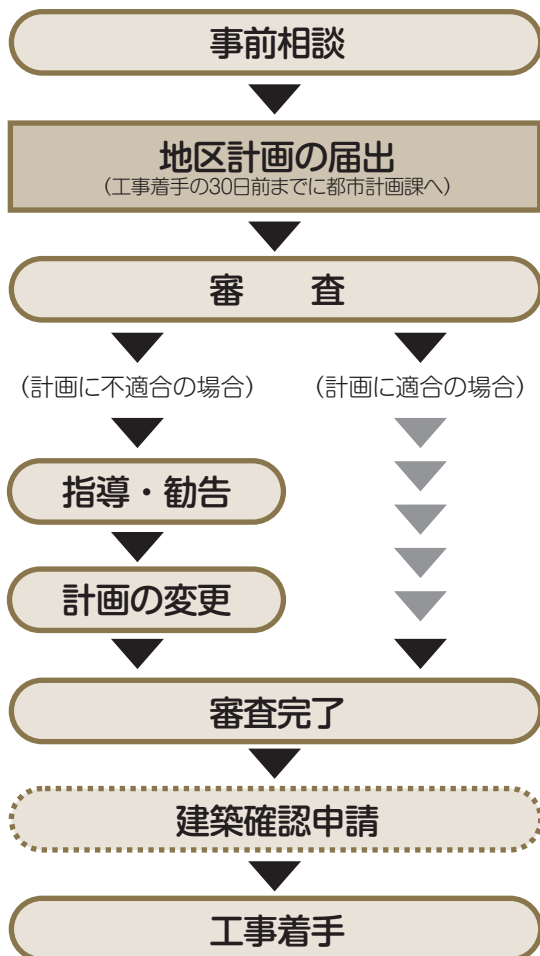


凡 例	面 積
住宅・生活利便ゾーン	約5.6ha
沿道サービスゾーン	約3.6ha
拠点施設ゾーン	約8.4ha
住宅ゾーン①	約2.6ha
住宅ゾーン②	約6.0ha
住宅ゾーン③	約0.9ha
合 計	約27.1ha



●届出の手続き●

計画の届出から工事着手までの流れ



●届出の必要な行為●

- (1) 土地の区画形質の変更
- (2) 建築物の建築又は工作物の建設
- (3) 建築物の用途の変更
- (4) 建築物等の形態又は意匠の変更

●その他●

「生け垣設置助成金制度」がありますので、下記へご相談ください。

お問合せ先は、

建築住宅課

TEL 227-6087 FAX 227-6253

●届出書の様式●

(記入例)

地区計画の区域内における行為の届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 野々市市長

届出者 住 所 〇〇〇〇〇〇
氏 名 〇〇 〇〇

都市計画法第58条の2第1項の規定に基づき

☐ 土地の区画形質の変更
☒ 建築物の建築又は工作物の建設
☐ 建築物等の用途の変更
☐ 建築物等の形態又は意匠の変更
☐ 木材の伐採

について下記により届け出ます。

記

- 1 行為の場所 野々市市 〇〇〇〇〇〇
- 2 行為の着手予定日 〇〇年〇〇月〇〇日
- 3 行為の完了予定日 〇〇年〇〇月〇〇日
- 4 設計又は施行方法

(1) 土地の区画形質の変更		区域の面積		㎡
(2) 建築物の建築又は工作物の建設	(イ) 行為の種類 (<input checked="" type="checkbox"/> 建築物の建築 <input type="checkbox"/> 工作物の建設) (<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 移転)	届出部分	届出以外の部分	合計
	(i) 敷地面積			〇〇〇.〇〇 ㎡
	(ii) 建築又は建設面積	〇〇〇.〇〇 ㎡	〇〇〇.〇〇 ㎡	〇〇〇.〇〇 ㎡
	(iii) 延べ面積	〇〇〇.〇〇 ㎡	〇〇〇.〇〇 ㎡	〇〇〇.〇〇 ㎡
	(iv) 高さ	〇.〇〇 m	(v) 用途	専用住宅
(3) 建築物等の用途の変更	(イ) 変更部分の延べ面積	(ロ) 変更前の用途	(ハ) 変更後の用途	
(4) 建築物等の形態又は意匠の変更	変更の内容			
(5) 木材の伐採	伐採面積		㎡	

備考

- 1 届出者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 地区計画において定められている内容に照らして、必要な事項について記載すること。
- 3 同一の土地の区域について二以上の種類の行為を行おうとするときは、一の届出書によることができる。

※上記の届出様式はホームページからダウンロードできます。

●届出に必要な添付図書●

1. 建築物等の配置図
2. 敷地の高低差が大きい場合は、建築物の縦断面図および横断面図
3. 建築物の付近見取図
4. 建築物の平面図、立面図および断面図 (立面図は着色したもの)
5. 届出書について代理人を委任している場合は、委任状
6. 面積算定根拠が必要な場合は、丈量図または求積図
7. 屋外広告物等を設置する場合は、その構造図
8. かき、さく、フェンスを設置する場合は、その構造図

(注) 配置図は、道路および隣地等の境界線から壁面までの後退距離を明示してください。また立面図には、着色 (マンセル値) および建築物の最高高さを明示してください。

地区計画に関するご相談・お問合せは

野々市市土木部都市計画課

〒921-8510 石川県野々市市三納一丁目1番地

TEL 076-227-6091 FAX 076-227-6253

<http://www.city.nonoichi.lg.jp/>

E-mail : toshikeikaku@city.nonoichi.lg.jp



古紙配合率80%再生紙を使用しています

2019年11月